



神さまは、マリアとヨセフが、幼子イエスといっしょに住んでいた家まで、博士たちを連れてきました。はるばる旅をしてきた博士たちは、ひざまずいて、イエスをおがみました。そして、黄金や香料の貴重な贈り物を、イエスにプレゼントしました。

19



神さまは、王さまに知らせずに、こっそりと家に帰るようにと、博士たちに言われました。それを知ったヘロデ王は、怒り狂いました。そして、イエスを殺す決心をしました。

20



いじわるな王さまヘロデは、ベツレヘムにいる男の赤ちゃんをみんな殺せと命令しました。

21



けれど、ヘロデ王は、神さまの御子イエスを、傷つけることはできませんでした。夢のお告げがあつて、ヨセフはマリアと幼子イエスを、安全にエジプトへと連れて行きました。

22



たんじょう
イエスの誕生



ヘロデ王が死んでしまったので、ヨセフはマリアとイエスを連れて、エジプトから出て行きました。そして、三人はガリラヤ湖のそばにあるナザレという小さな町に住みました。

23

イエスの誕生
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。
マタイ 1-2 章、ルカ 1-2 章
あなたの御ことばが聞かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

文 Edward Hughes
絵 M. Maillot; Lazarus
翻訳者 Yuko Kajiki 監修者 Dan Ellrick
出版社 E. Frischbuter; Sarah S.
60話の第36話
M1914.org
Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg MB R3C 2G1 Canada
許可： 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺをくらっています。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくいには、死です。
神さまは、私たちがとても愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くなることによって、私たちの罪をとってくださいました。イエスさまは、よみがえられた天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてください。
もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしゃることを信じます。どうか、私のところの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あなたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにいられます。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン
ヨハネによる福音書 3:16
まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！

日本語 Japanese



むかし、むかし、神さまは、マリアという心のやさしいユダヤの娘のところに、天使ガブリエルを送られました。ガブリエルはマリアに言いました。「あなたは男の子を生みます。」

そして、その子の名はイエスと呼ばれます。イエスは天におられる神さまの御子と呼ばれるでしょう。イエスは永遠に国を治め、その国はいつまでも続くでしょう。」

1

2

「どのようにして、そのような子供が生まれるのでしょうか？」びっくりした少女は聞きました。「私はまだ結婚もしていませんのに。」天使はマリヤに言いました。「その子は人間のお父さんからではなく、神さまからさずかるのです。」



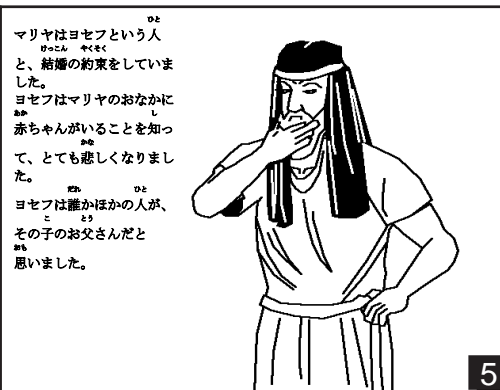
3

それから、天使はマリヤにと言いました。「あなたのいとこのエリザベツも、年をとっています。が、赤ちゃんが生まれるのです。これもまた奇跡なのです。」すぐに、マリヤはエリザベツに会いに行きました。そして、二人でいっしょに神をほめたたえました。



4

マリヤはヨセフという人と、結婚の約束をしていました。ヨセフはマリヤのおなかの赤ちゃんがいるのを知って、とても悲しくなりました。ヨセフは誰かほかの人が、その子のお父さんだと思いました。



5

夢の中で、神さまからの天使が、その子は、神さまの御子であることを教えてくれました。ヨセフはマリヤがイエスを育ててお手伝いをしようと思いました。



6

ヨセフは神さまを信じ、従いました。また、国の法律も守りました。新しい法律ができたので、ヨセフとマリヤは、故郷のベツレヘムへと帰って行きました。生まれた土地で、税金を払う手続をするためでした。



7

マリヤの赤ちゃんが、今にも生まれそうになりました。一生懸命、ヨセフは部屋をさがしましたが、どこにも見つかりません。どの宿屋もみんな満員でした。



8

ヨセフは、やっつとで、馬小屋を見つけました。そこで赤ちゃんのイエスが生まれました。母マリヤは、家畜のえさをいれておく、飼料おけにイエスを寝かせました。



9

近くで、羊飼いたちが寝ている羊の群れを見守っていました。天使があらわれて、羊飼いたちにすばらしいニュースを知らせました。



10

「今日、ダビデの町に、救い主・イエス・キリストがお生まれになりました。飼料おけに眠っている赤ちゃんを、あなたがたは見つけるでしょう。」



11

そのとき、たくさんの方がやがて天使が現れました。そして、神さまを賛美して言いました。



12

「天の神に栄光がありますように、そして、地上の人々に平安と幸福があるように。」



13

羊飼いたちは、大急ぎで馬小屋へと、走って行きました。赤ちゃんのイエスに会った後、羊飼いたちは、天使がイエスについて教えてくれたことを、みんなに話しました。




14

四十日後に、ヨセフとマリヤは、幼子イエスを連れて、エルサレムの神殿に行きました。シメオンという人が、イエスのことで神さまをほめたええました。しばらくして、神殿のお手伝いをしていた、おばあさんのアンナも、神さまが御子イエスをさずけてくださったことを、感謝しました。



15

シメオンもアンナも、イエスは神の御子で、約束された救い主であることを、知っていました。ヨセフは2羽の鳩を犠牲としてさげました。これは神さまへ供え物をするとき、のきまりではじめて赤ちゃんが生まれたとき、美しい人が持つてくるものでした。



16

1-2年後、美しくきらきら光る星が、東の国の博士たちを、エルサレムへと連れてきました。「ユダヤの王として、お生まれになった方は、どこにおいでになりますか。」博士たちは聞きました。「私たちが、その方がおがみにいました。」



17

ヘロデ王は、博士たちのことを聞きました。こまごまして、ヘロデは、博士たちにイエスを見つけたら、知らせるようにと言いました。「私も、その方がおがみたいから。」と王さまは言いました。けれど、王さまはうそをついたのでした。ほんとうはイエスを殺してしまおうと思っていたのでした。



18